

DS Audio



DS-W2光カートリッジ：400,000円（税別）



予定価格 1,300,000円（税抜き）



EMM Labから光カートリッジ専用フォノイコライザー登場

「お客さんは光カートリッジの音を一度聴いたら二度とMM/MCカートリッジには戻れない。

だからもうEMM LabのフォノイコライザーにはMM/MC入力を付けないことにした。」

Ed Meitner

問い合わせ先：DS Audio（株式会社デジタルストリーム）

〒252-0318 神奈川県相模原市南区上鶴間本町4-50-40

TEL:042-747-0900 / FAX:042-747-6011 / E-mail:support@ds-audio.biz



スペック情報

型番	DS-EQ1
出力	500mV RCAシングルエンド 1V XLRバランス
出カインピーダンス	300オームXLRバランス 150オームRCAシングルエンド
2xフロントパネルタッチパッド	(左)カートリッジONボタン (右) サブソニックフィルター(from15Hz)
電源	85V-260V 50 / 60Hz IEC入力コネクター
外形寸法	43.8 x 38.1 x 10.2 (センチメートル)
重量	12キロ
価格	1,300,000円

輸入代理店及びサポート

EMM Lab光カートリッジ専用フォノイコライザーの輸入及びカスタマーサポートはDS Audio(株式会社デジタルストリーム)にて行います。その他のEMM Lab製品についてのお問い合わせはハイエンド様へお問い合わせください。

互換性

EMM Labの光カートリッジイコライザーは全てのDS Audio光カートリッジと互換性を有しております。万が一当製品が原因で光カートリッジが故障してしまった場合もDS Audioの製品保証の範囲内において対応させていただきます。

DS Audio



インタビュー

**Q.なぜ光カートリッジ専用イコライザーを作ることにしたのですか？
その経緯を教えてください。**

A.私は所有している多くのレコードをもう一度本格的に再生してみようと思い現在のレコード業界の動向を調査しました。そこで見つけたのがDS Audioの光カートリッジでした。レビューやお客さんの評判が良かった為、すぐにDS Audioに連絡して開発用にDS-W2カートリッジのサンプルを1台購入し簡単なイコライザー基盤を試作してみました。

そのサンプルから出てきた音は信じられないものでした。解像度、明瞭さ、低域の感度は私のリファレンスで使っていたMCカートリッジを遥かに凌ぐもので、この音を聴いた瞬間に私はEMM Labsのフォノイコライザーの開発をすることを決意しました。

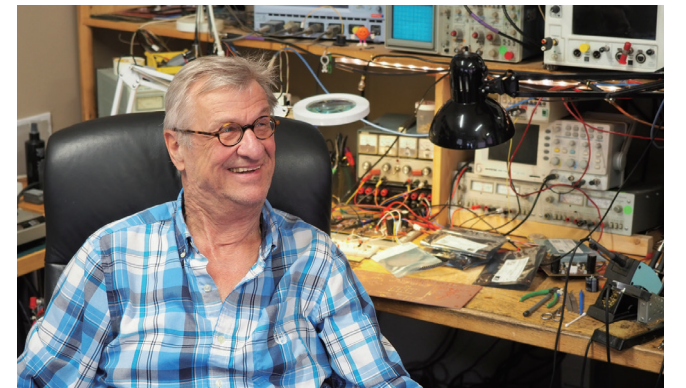
初めの計画はMC/MMカートリッジ用のフォノイコライザーに光カートリッジの入力も付けるというものでしたが、私がそうであったようにお客さんも一度光カートリッジの音を聴いたら二度とMM/MCカートリッジの世界には戻れないはずなので思い切ってMM/MCカートリッジの入力を外し、光カートリッジ専用フォノイコライザーを開発することにしました。

EMM Labsとは

ソニーがSACDのコンセプトを実際の音に具現化する際にこのデジタルコンバーター設計の第一人者と仕事を始めました。それがEMM Labsのエド マイトナー氏でした。

エド氏はソニー、フィリップスと共にフォーマットを最大限活かすための改善を徹底的に行いSACDの確立に大いに貢献しました。そしてその後ディスクプレーヤーからプリアンプまでの完全なマルチチャンネルDSD再生システムを開発しました。

その噂は瞬く間に業界内に広がりEMM Labsは録音現場で高解像度録音&再生を目指す人たちの間で最も尊敬されるブランドになりました。そして現在ではEMM Labsデジタルコンバータシステムは、レコード業界の事実上のDSDリファレンスとなっており、現在生産中のほぼすべての新しいSACDIは、EMM LabsのDSDコンバーターを使って作成されています。DSD開発における多大なる貢献からエドマイトナー氏は業界では”SACDのレジェンドとも呼ばれています。



開発においてはDS Audioと何度もミーティングを重ねながら進めましたが、私にとってこの開発はとても興味深いもので最終的にはとても満足のいく製品に仕上がったと思います。世間では私はデジタルの人間だと思われるかも知れませんが、今では光カートリッジとこのイコライザーを使って毎日レコードを聴いています。

皆様も是非一度この製品を聴いてみてください。今まで体験したことのないような素晴らしい音楽体験となることを約束します。